

「JIN」思いやりある経済社会を実現する
「包摂志向」日本版CBDCの提言

南山大学法学部法律学科

毛利 英暉

宮田 雄志

- 1-1. 現状分析 | 世界のCBDC発行動機
- 1-2. 現状分析 | 日本の金融排除の特徴
- 2. 日本版CBDC「JIN」の提言
- 3. 提言の有効性検証
- 4. まとめ

リテール型CBDC発行国11カ国の主な発行動機

- ・ 不正な経済活動に対するセキュリティ強化
- ・ 送金の促進
- ・ 現金に関するコスト削減
- ・ **金融包摂**



金融包摂が10カ国の共通したCBDC発行動機とされている

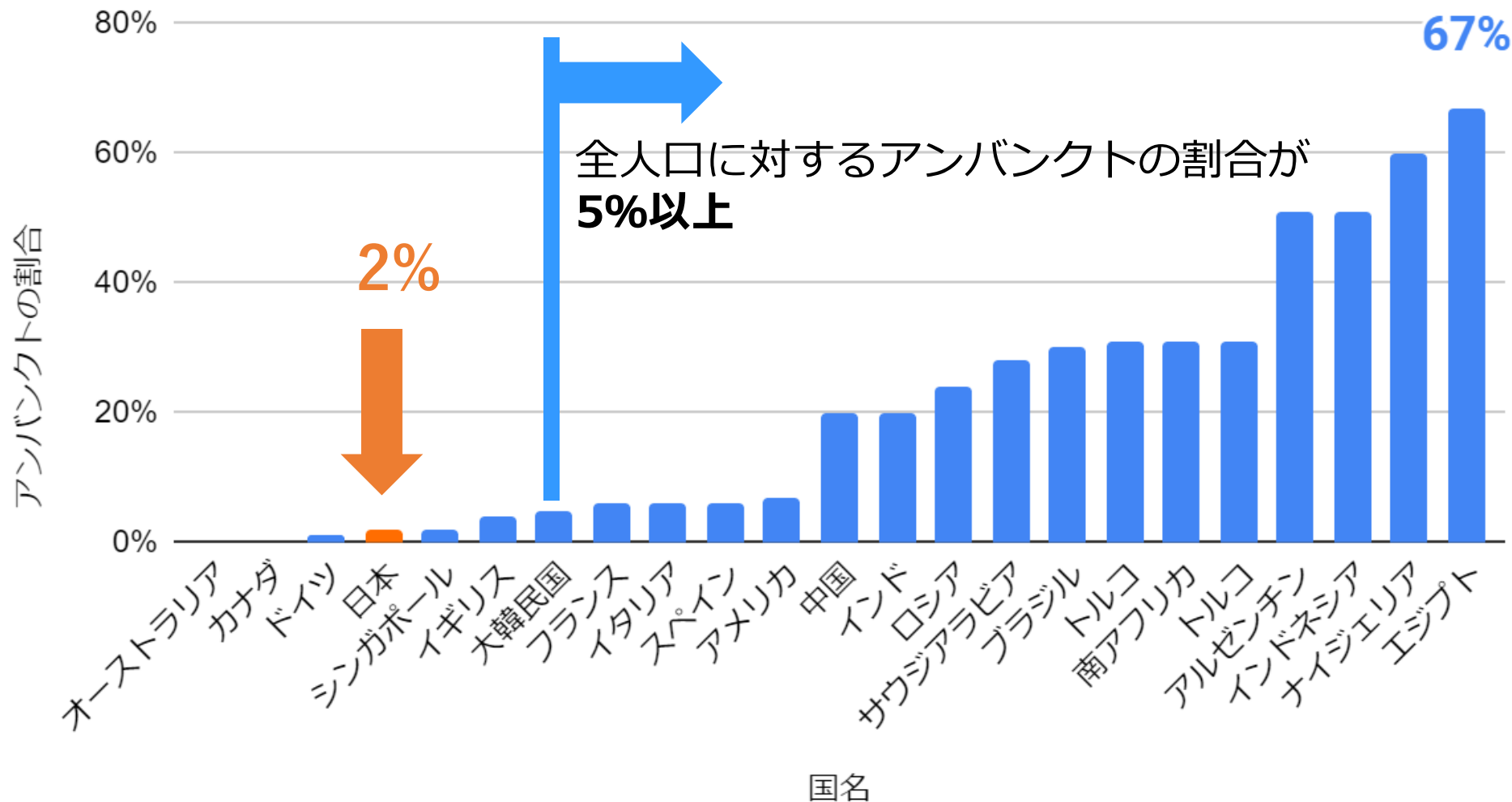
リテール型CBDC発行検討国の発行動機

- ・ アメリカ：FRB内で意見が分かれるが、推進派は、**金融包摂**を動機として主張
- ・ スウェーデン：特定の人々に対する金融排除を問題視し、**金融包摂**を推進したい考え
- ・ 中国：「中国経済のデジタル化の推進」「金融決済システムの効率化」とともに
「**金融包摂**の拡大」をデジタル人民元の狙いとしている

 **大国・中小国の差に拘わらず、金融包摂がCBDC発行動機として、位置づけられている**

17億人のアンバンクトの存在

世界のアンバンクトの現状



出典：Merchant Machine 2022 The Countries Reliant on Cashに基づき、著者作成

認知高齢者や障害者、低所得者層

- ・ **認知高齢者と障害者**

認知機能の低下、精神障害により、十分な金融サービスが受けられない

- ・ **低所得者層**

収入の低さや変動、債務の返済により、満足な金融サービスが受けられない



日本でも金融排除に近い状況に置かれている人々の存在

認知高齢者・障害者

養護老人ホームの入居者には、

「**ギャンブル依存症**や**浪費癖**のある人が少なくない」と言われている(中野、2021)



職員の助言だけでは計画的な金銭管理ができない人がいる

自立相談支援事業の初回相談内容の61.6%が

「公共料金や家賃等の滞納、収入に応じた金銭の管理ができない」というもの



**認知高齢者、一部の障害者にとって
日常的な金銭管理が自身だけでは困難**

低所得者層

資金繰りのコントロールの困難

補填のため

借入



多重債務問題

この一連の流れが、
適正な金融サービスのアクセスからの**排除**が発生するだけでなく、
それにより、**金融知識の欠如**や**銀行への不信**につながる

「福祉支給のまとめ払い」



収入の不安定の原因に

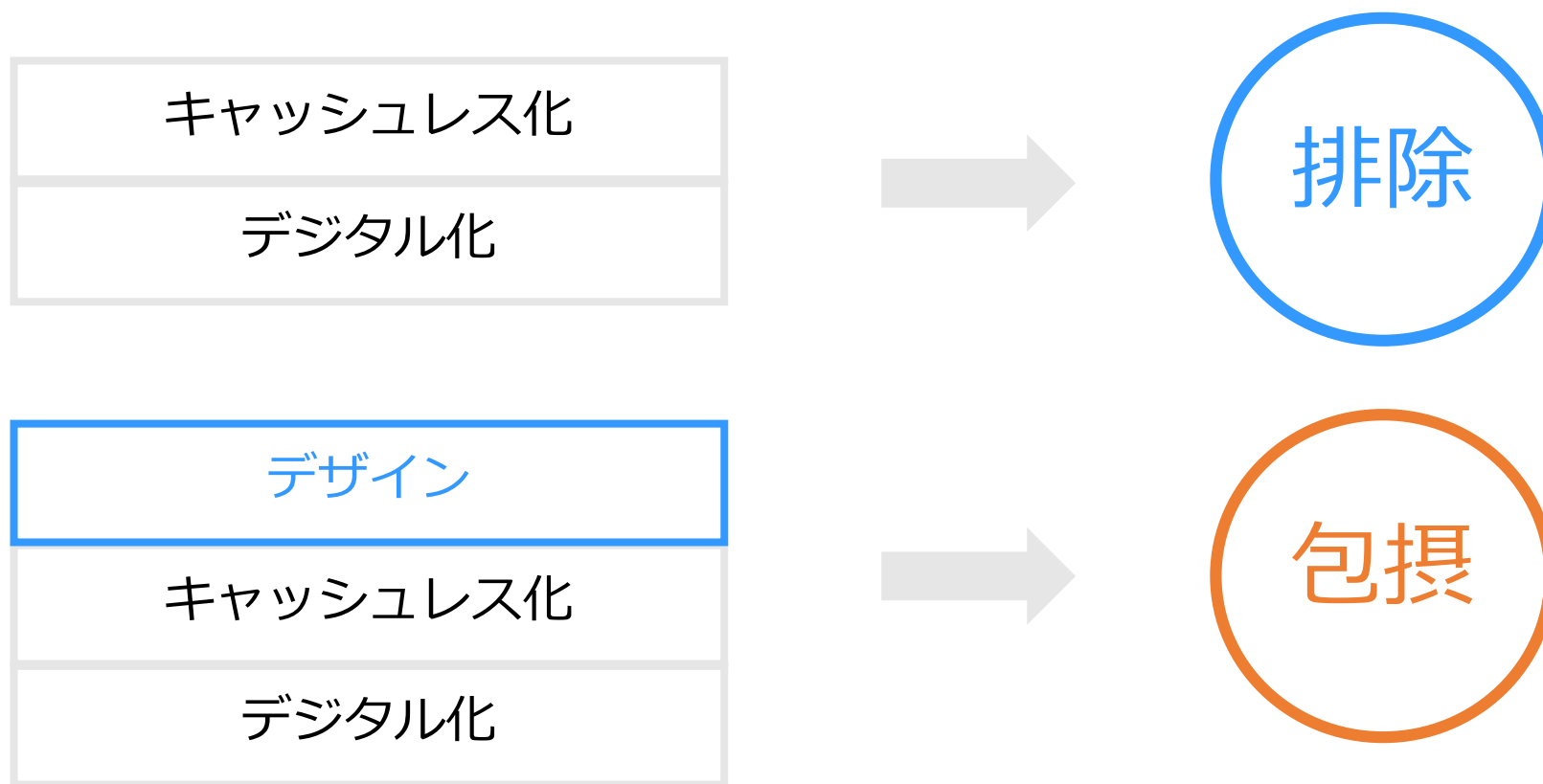
デジタル社会化と我が国の金融排除の行く末

- ・ 所得が低くなるほど、キャッシュレス利用率が低くなる
- ・ キャッシュレス決済の利用が困難な一部の高齢者、障害者の存在

デジタル化に伴うキャッシュレス化の進展により、
一部の人々を置き去りにしてしまう懸念

➡ キャッシュレス化が進めば、さらなる「**排除**」が生じる可能性

キャッシュレス化の排除と包摂



あらゆる視点からインクルーシブなCBDCのデザイン「JIN」を提言

2. 日本版CBDC「JIN」の提言

デザインの前提

- ・ リテール型CBDCに関する提言
- ・ 発行に関しては、間接型の発行を想定
- ・ 価値移転に関する問題には立ち入らない

アクセシビリティの確保

「JIN」の目的は、誰もが平等に積極的に参画できる経済社会の創造

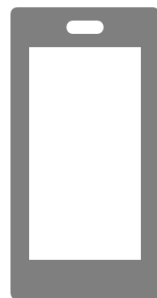


ユニバーサルデザインの推進が重要

ハード面

ソフトウェア型のCBDC

- ・デジタルデバイスが必要
- ・使用世代によっては操作が煩雑



ハードウェア型のCBDC

- ・デジタルデバイスは**不要**
- ・ICカードのような仕様であれば、操作の**簡便性**が確保できる



➡ 経済活動への参画の壁となる要素をハードウェア型のデザインにより排除

ソフト面

CBDCウォレットの利用手続の際の個人情報提供範囲を最小限に

メリット

- ・取引の匿名性を確保
- ・普及率を高める
- ・プライバシー保護

デメリット・懸念点

- ・本人確認ができない
- ・非合法取引への懸念

懸念点への対策

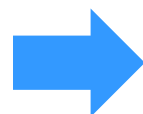
- ・利用限度額の設定
- ・使用用途による
提供個人情報の範囲の
コントロール

金銭管理に困難を抱える人々の包摂

CBDCの送金技術・付加機能



デジタル円の
定期的な
自動振り込み



当事者の経済的な意思決定を実現



振り込みの手間や手数料等のコスト削減



前提となる金銭管理計画の制度設計の同時推進が必要

福祉支給の分割支給の実現

CBDCの送金技術・付加機能

福祉支給を
週ごとや日ごとに
分割支給



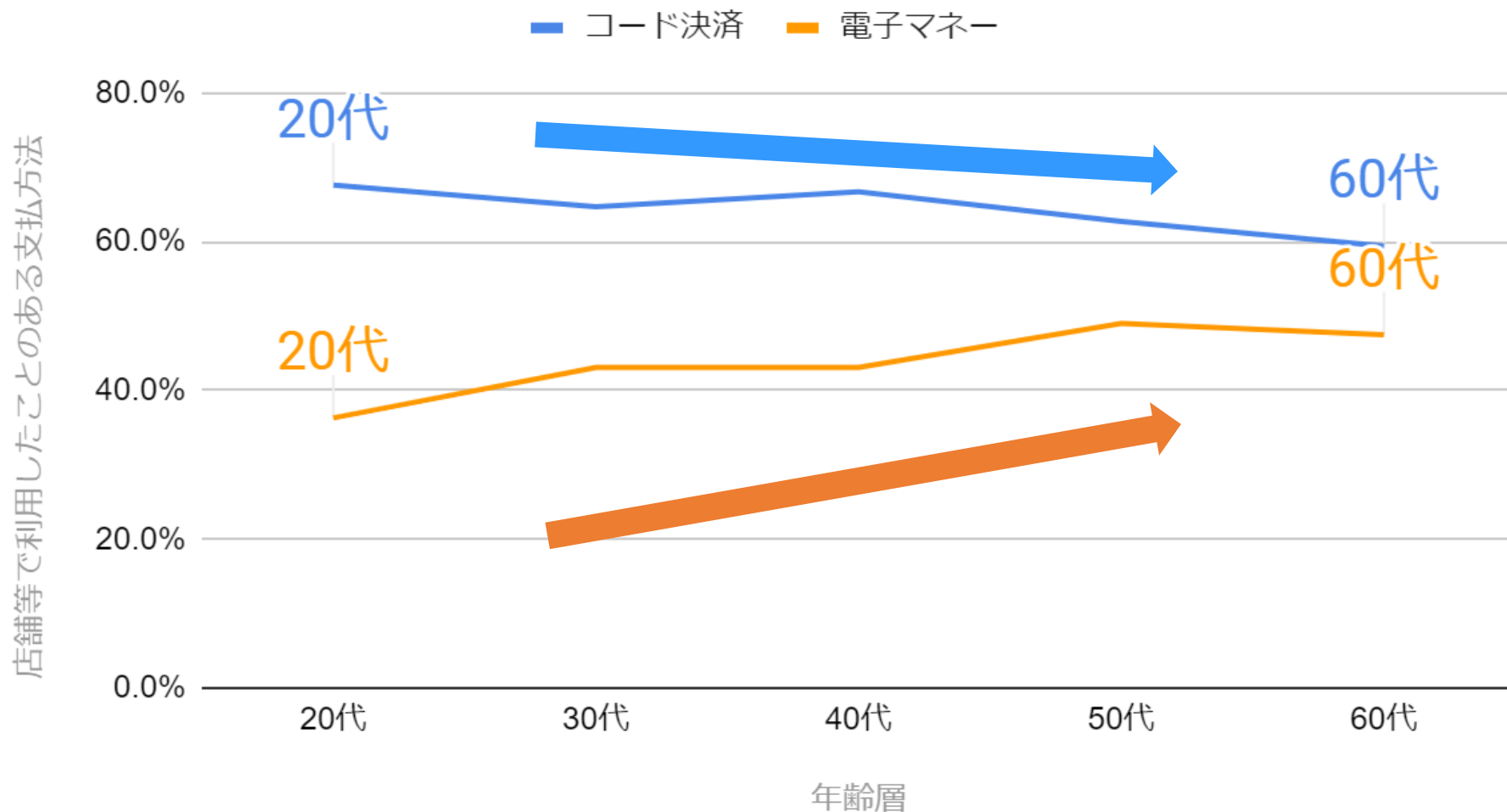
福祉支給の実効性を高める
家計安定への寄与
利便性の向上



振り込みの手間や手数料等のコスト削減

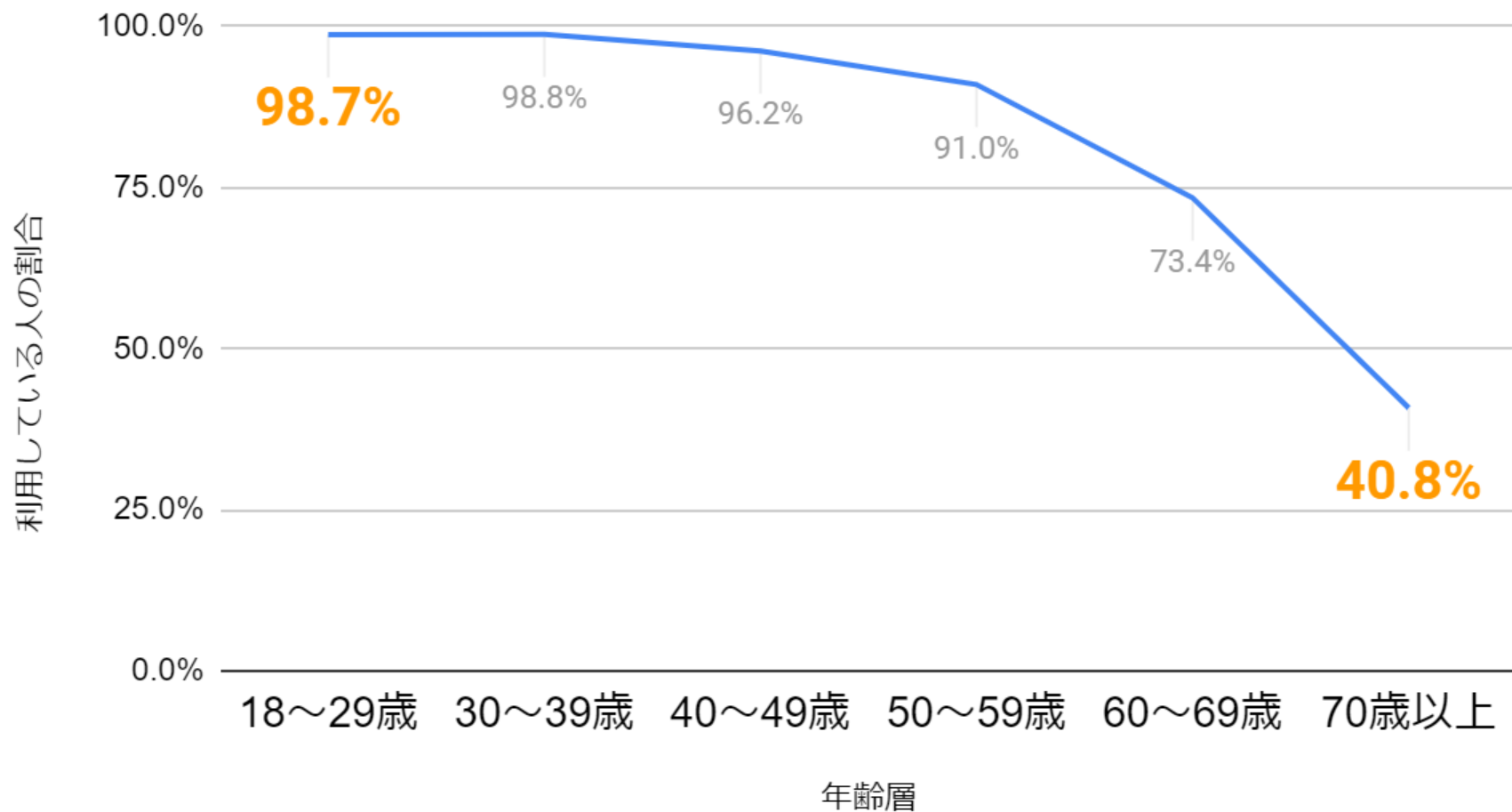
電子マネー・コード決済の世代間利用格差

コード決済 と 電子マネーの年代別利用率



スマホ・タブレットの世代間利用格差

スマートフォン・タブレットを利用している人の年齢層別割合



電子マネーの使いやすさ

ソフトウェア型のCBDC

「世代間利用格差」
が普及の足かせになる懸念

電子マネーの利用率は、

93.6%(Job総研,2022)

利用理由の回答として最多は、

「支払がスムーズである」(同上)

➡ ハードウェア型のCBDCの果たせる役割は大きい

障害者の権利条約

障害者の権利条約12条5項

障害者が自己の財産に関し、平等の権利を有し、
法的主体として尊重する措置を締約国に求めている

障害の社会モデル

社会のあり方



社会の変容

現在の状況



「金銭管理が困難」



経済的自由に制限

許容できない

障害者の権利委員会対日審査総括所見

「必要としうる支援の水準や形態にかかわらず、
全ての障害者の自律、意思及び選好を尊重する支援を受けて
意思決定をする仕組みを設置する」ことと勧告



**CBDC「JIN」による金銭管理のサポートは、
意思決定の尊重に適い、実効的な権利実現へ**

アンケート概要

- (1)実施期間：2022/9/26から2022/9/28の3日間
- (2)実施手段：Google フォーム
- (3)対象と回答人数：10代から80代の様々なライフステージにある120人

質問内容

- ①日本版CBDC「JIN」が発行されれば、利用したいと思いますか？
- ②日本版CBDC「JIN」は、電子マネーをモデルとしていますが、使いやすさが確保できると思いますか？
- ③CBDCのデザインによる福祉支給の分割給付は有効だと思いますか？
- ④CBDCで福祉支給を受給できる場合、CBDCで受給しますか？
- ⑤CBDC「JIN」が経済社会のさらなる発展に貢献することが期待できますか？

本アンケートで得た指摘

- ①日本版CBDC「JIN」が発行されれば、利用したいと思いますか？
- ④CBDCで福祉支給を受給できる場合、CBDCで受給しますか？

セキュリティやプライバシー等の安全性に関する懸念

既存の電子マネーとの差別化を求める意見

→ 利便性と安全性のバランスという課題が明らかに

好意的な回答の割合が高かった質問

- ②日本版CBDC「JIN」は、電子マネーをモデルとしていますが、使いやすさが確保できると思いますか？
- ③CBDCのデザインによる福祉支給の分割給付は有効だと思いますか？
- ⑤CBDC「JIN」が経済社会のさらなる発展に貢献することが期待できますか？

電子マネーをモデルとしたデザイン

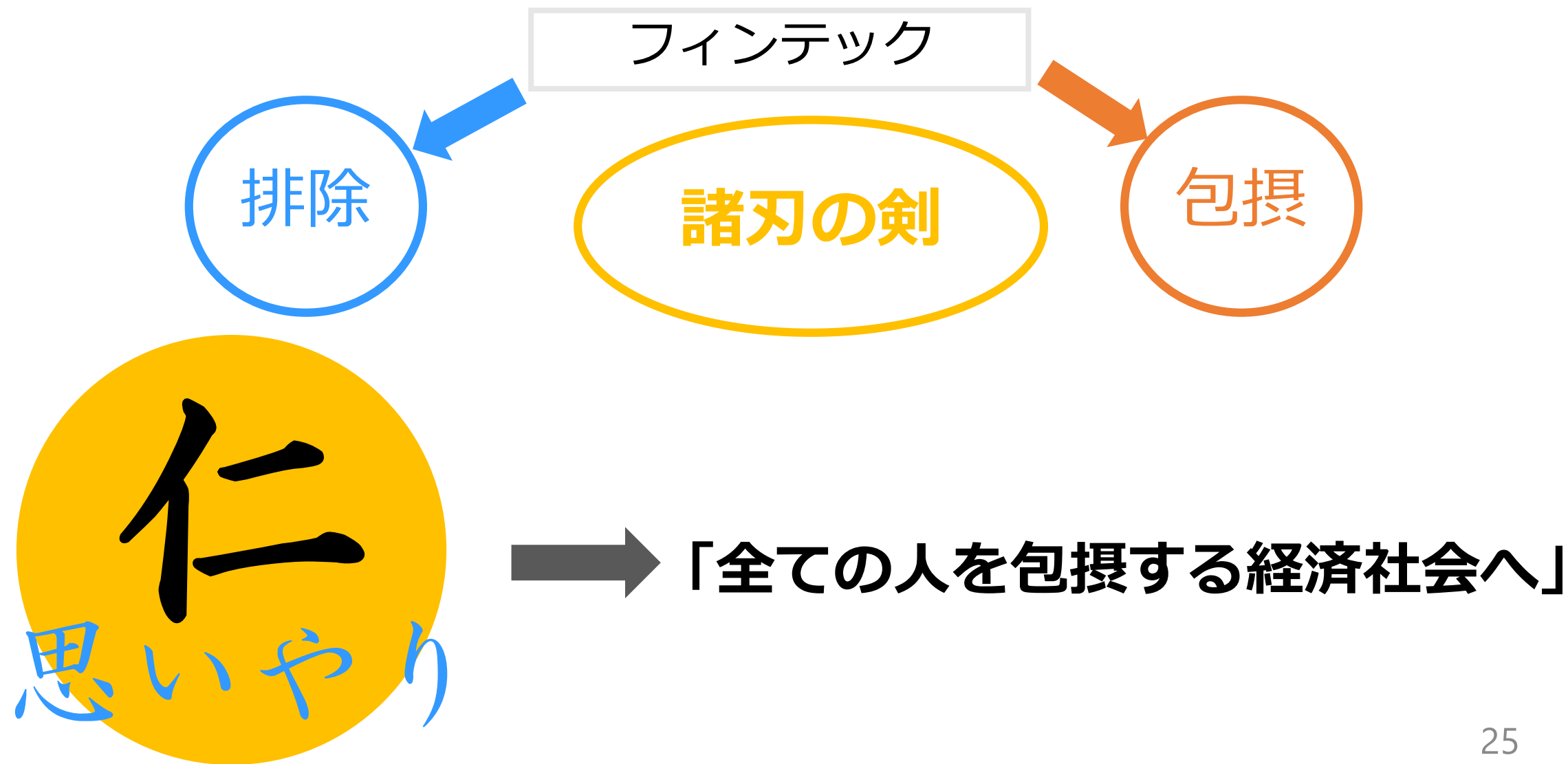
CBDCデザインによる分割給付の有効性

CBDCデザインによるよりよい経済社会の創造というコンセプト

➡ **一定の評価**

5. おわりに

「JIN」に込められた願い



ご清聴、ありがとうございました